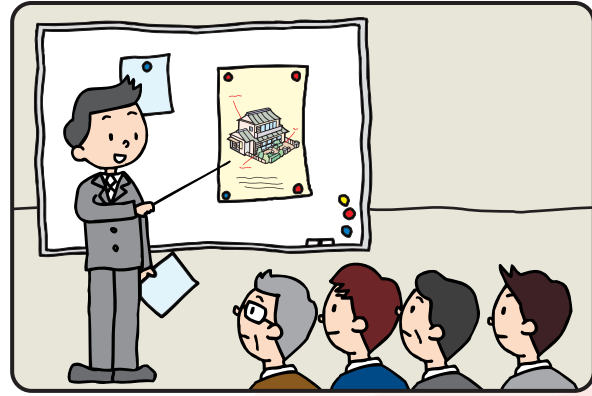


防犯まちづくりにおける役割

県・県民・自治会等・事業者が一体となって地域社会における自主的な犯罪防止活動を推進するとともに、犯罪の防止に配慮した環境を整備することが、防犯対策につながります。自分や家族、財産を守るためにも、地域の防犯活動に積極的に参加し、地域ぐるみで犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりに努めましょう。



県の役割

- ・総合的な施策の策定
- ・県民、自治会等、事業者及び市町と連携して、効果的な防犯対策などの広報啓発を行う。

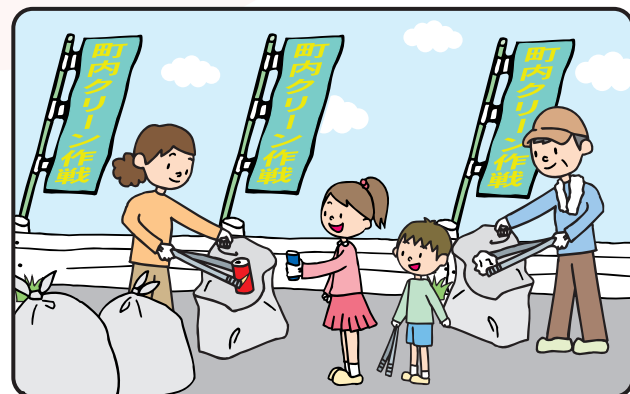


事業者の役割

- ・県民、自治会等地域と協力して安全なまちづくりへの積極的な参画をする。



県民、自治会等の役割・一人ひとりが自らの安全を守るという意識で自主的な取り組みをおこなう。
・地域の活動に参加する。



【地域におけるいろいろな活動】

防犯対策でもっとも大切なことは、自分の身や家族、財産を守るという強い気持ちをもつことです。犯罪者をまちに寄せつけないために有効なのは、隣近所同士のコミュニケーションを図ること。日ごろから近所であいさつをしていれば、連帯感が強まり、不審者の姿や物音にも気がつきやすくなります。

県民、自治会等及び事業者の自主的な防犯活動により犯罪のない安全で安心して暮らせる地域づくりが実現します。

犯罪者がもっとも恐れるのは、住民の視線です。「ここでの犯行は無理だ」と思わせる街をつくるには、地域住民の自主的な防犯活動の取り組みを活発にすることです。防犯ボランティアを結成し、防犯パトロールやあいさつ運動など、地域が一体となって犯罪防止に取り組みましょう。

ボランティアの参加は自由です。できる人から、できる時間に、できることから始めましょう。

地域みんなで犯罪をおこしにくいまちをつくらう。